



浜 / 山 / まち / こどもたちをつなぎ、ひろがる学校

新しい小中学校は唐丹地区の集落の風景にあわせたおおらかな勾配屋根をもつものとなります。コンパクトなまとまりのある唐丹地区の集落の魅力を継承するよう、それぞれの建物は民家のように小さく快適な大きさです。同時に建物は全体がネットワーク状につながり、屋根もおおらかに連続し、復興の拠点や地域の中心としてのシンボル性を兼ね備えたものとなります。学校として子供たちの快適さを追求しながらも、同時に地域の大人帯に利用しやすく配慮することで、唐丹地区の生活の中心となるようになります。

建設では、可能な限り木造とし、地元の木々を利用します。「浜」の復興だけでなく、「浜の人 / 山の人」の両方が活躍できる建設や維持管理を目指します。

俯瞰内観スケッチ